

わかば33ヶ所巡り～第二回 野鳥サイクリング～

冬こそバードウォッチング！

2014/01/15

この寒い時期に何か見るべきものはあるだろうか、と思うかも知れませんね。でも、それがあるのです。「冬こそバードウォッチング」と言います。

今回はバードウォッチングができる2つの所、千城台野鳥観察園と泉自然公園へご案内しましょう。これら2つの場所は、野鳥を見るための配慮がなされていて、特に泉自然公園ではボランティアによるガイドもあり、お勧めです。（後述 [【バードウォッチングのガイドについて】](#) 参照）。

【お願い】

ルートの選定にあたっては、子供連れの家族が走ることを想定して、国道・県道など交通量の多い道路を通行することは極力避けるとともに、そのような道路を横断する場合には、信号のある交差点を通るようにしています。

しかし、すべてそうであるとは限りませんので、常に安全第一で行動してください。サイクリングによって生じた事故は自己責任でお願いします。

ルートマップ

【ルートマップの表示について】

次の地図は千葉都市モノレール千城台駅を起点・終点とするルートを示しています。

- ・ 地図をクリックすると拡大・縮小可能な地図が表示され、地図の左の欄に距離、所要時間が記されています。
- ・ 拡大・縮小は、地図の左にあるプラス（+）ボタンまたはマイナス（-）ボタンをクリックすることにより行います。
- ・ 地図の右下にある三角のボタンをクリックするとルートを自動的に辿り、位置と高低差のグラフの変化が表示されます。
- ・ 地図にある吹き出しの上にマウスポインターを重ねると、その場所に関する情報が表示されます。

泉自然公園へのルートマップ



千城台野鳥観察園へのルートマップ



(1) 千城台から泉自然公園へ

【経路のあらまし】

《往路》

- 千城台駅前（「ラ・パーク」前）を出発
- ～「千城台駅前」交差点
- ～「県立泉高校金親入口」交差点（県道53号を横断）
- ～「若葉いきいきプラザ前」交差点
- ～「県立泉高校」交差点～高根団地住宅街を通る
- ～県道66号横断

～「高田インター入口」交差点

～泉自然公園 正門

《公園内の移動》

泉自然公園 外周のサイクリングコース

～泉自然公園 「下の池」

《帰路》

「下の池」の出口を出て左折し、公園外の細道に行く

～「川井」交差点

～県道66号横断

～「県立泉高校入口」（東金街道＝国道126号を横断）

～「県立泉高校」交差点

～往路を逆に進む

～「千城台駅」交差点

～千城台駅前（「ラ・パーク」前）に戻る

【道案内】

《往路》

千城台駅前をイザしゅっぱーつ！ラ・パークの建物を反時計回りに回るかたちで進み、「千城台駅」交差点を直進する。

注意： 左手のマンション（「千城台グリーンハイツ」）のならびにあるスーパー（「生鮮千城」）の前は歩道も車道も混み合っていて通りにくい。歩道に行く時には状況によっては自転車から降りて押して歩く。

左に自転車屋、右に公園、左前方にアパート、右前方にスーパーがある交差点を左折する。

道が緩やかに左にカーブする辺り、右側には、白と灰色のタイルの外壁の建物が見えるだろう。その建物の手前を右折して、細道に入る。

細道を道なりに進み、「泉高校金親入口」交差点を信号に従って直進する。

「若葉いきいきプラザ前」交差点を直進し、道なりに進む。

「県立泉高校前」交差点を直進し、道なりに進む。

住宅街（高根団地）の最初の十字路を左折し、突き当たりを右折し、道なりに進む。

右角にコンビニがあるT字路に突き当たる。

注意： この先にコンビニはないので必要ならこのコンビニで用事を済ませておくとよい。

突き当たった道（県道66号）を右折する。

道は緩く左にカーブした後、「く」の字の形に右に折れる。折れるところで左の細道をほぼ直進する形で入ってゆ

く。

細道が、やや広い道と交差したところ（十字路）で左折する。

しばらく道なりに進み、坂を下りきると、T字路に突き当たるので、そこを右折する。

緩やかな上り坂を道なりに進むと、やがて右側に社会福祉施設（宝寿会）がある三差路に至るので、そこを道なりに右折する。

道は途中でさらに細くなるが、心配せずに道なりに進むと、国道126号と交差する「高田インター入口」交差点に出る。

広い複雑な交差点をクランクの形で前進するのだが、安全のためにまずしっかり左折して歩行者信号のあるところまで進み、信号に従って進む。

道なりに進むと道は急に細くなり、カーブした先の右手に泉自然公園の正門に至る広いアプローチの道がある。そこを右折して正門に入る。

駐輪： 自転車は、正門を入りすぐ左折すると右側に（トイレの右に）指定された駐輪スペースがあるので、そこに停める。

案内図など： 正門を入ると左前方の角に「泉自然公園」と刻まれた石板があり、その左に公園の案内図が入った箱があるので、案内図を入手しておくといよい。もし案内図がなければ、正門をは入って右手にある管理事務所（「千葉県若葉公園緑地事務所」）で入手できる。ついでに、「バードウォッチングガイド」について知りたいことがあればここで訊ねるとよい。

以後は、入手した案内図に従って徒歩で行動するか、自転車で「下の池」へ移動する（移動については以下に記す）。

《移動》

いったん正門を出て、すぐ右の細道に入る。

この細道は公園の外縁部を取り巻く舗装されたサイクリングコースであるが、歩行者もいるので注意して進む。

T字路に突き当たったら右折する。

広々とした畑の中の道を進み、林間の道に入ってゆき、道なりにどんどん進む。

林間の道は下り坂であり、曲がりくねっていて、日陰は苔むしているので、十分に速度を落として進む。

やがて右手に湿地、蓮池、下の池が続く。突き当たりを右折する。

駐輪： 自転車置き場は無いので邪魔にならない場所に停めて（ロックをして）、園内を散策する。

【冬こそバードウォッチング】

木々が葉を落とす晩秋から秋にかけては、野鳥観察を始めるのに絶好のシーズンです。シベリアなどから日本に渡ってきて冬を越す鳥を冬鳥といいます。代表的な鳥はツグミやジョービタキ、そして多くのカモ類などです。夏は涼しい高地などで過ごし、冬になると餌のある低地に移動してくるアオジやルリビタキなどの漂鳥もいます。

《『わくわくいずみ自然ウォッチング』（泉自然公園ガイドブック）82頁より引用》

【バードウォッチングのガイドについて】

『ボランティアガイド』がスタートしました！

平成25年4月21日（日）、野草や野鳥の『ボランティアガイド』がスタートしました！

野草や野鳥の見ごろとなる季節の土・日曜日に開催しています！

ぜひご利用ください。

またボランティアガイド実施時間は以下の通りです。

1回目：午前10：00～12：00まで

2回目：午後 1：00～ 3：00まで

ボランティアガイドが園内を巡回しておりますので、野草や野鳥の解説をご希望の方は気軽にお声掛けください。

平成25年度泉自然公園ボランティアガイド実施予定日

2月 2日（日）

2月 9日（日）

2月16日（日）

2月23日（日）

3月 2日（日）

3月 9日（日）

3月16日（日）

3月22日（土）

3月23日（日）

3月29日（土）

3月30日（日）

出典：上記は千葉市の次のホームページから一部を抜粋（日程については2・3月）して転載したものです。詳しくはそちらをご覧ください。

http://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/kanri/wakaba/volunteerguide_top.html



「ボランティアガイド」の案内



園内の案内地図が入っている箱



通年見られる山野の鳥の説明板



「下の池」で見られる水鳥の説明板



「下の池」の水面に見られた冬鳥。警戒心が強くすぐ飛び去った。

(2) 千城台駅前から千城台野鳥観察園へ

【経路のあらまし】

千城台駅前
～千城台公民館／若葉図書館／若葉文化ホール

～千城台西小学校
～千城台野鳥観察園

【道案内】

千城台駅前のショッピングセンター「ラ・パーク」の建物に沿って時計回りに進み、一般道に出たら左折する。

信号のある交差点を直進し、左にある公共施設（千城台公民館／若葉図書館／若葉文化ホール）の前の道路を道なりに進む。

次の信号のある交差点を道なりに右方向へ進むと下り坂となる。坂を下りきったところの十字路を左折。右には千城台西学校があり、校庭に沿って進む。

校庭のはずれの角を右折する。左には池と森が見える。目的地の千城台野鳥観察園であるが、反時計回りに4分の3周して、千城台野鳥観察園についての説明板があるところまで進む。

ここに自転車を停めて、説明板図示されている「第一観察場」と「第二観察場」へ徒歩で行く。「観察場」には野鳥について説明した図鑑のような低い高さの円柱がある。

（※「第二観察場」への道はいわゆる歩道ではなく、人が一人通れる通路で、自転車は通れない。車道を行くと、観察場に行くにはガードレールを乗り越えることになる。）

野鳥観察を終えたら、自転車を停めた場所へ戻り、今度は車道を自転車で第二観察場の方向へ進み、小学校のはずれの信号のある交差点を右折して、来た道を千城台駅前に戻る。



「千城台野鳥観察園」の説明板



観察場にある野鳥の説明が記された石柱



観察場の壁と野鳥の説明が記された石柱



観察場の観察窓から「おむすび山」を望む

参考： 白鳥サイクリング（印西市本埜の「白鳥の郷」）

千葉県印西市には、白鳥などの冬鳥がシベリアから飛来して越冬している水田がある（「白鳥の郷」）。小生は毎年サイクリング仲間と一緒に自転車で見に行きます。白鳥の郷へゆくルートはいろいろありますが、次のルートは、図から分かるように、自転車で行く場合の最も短いルートの一つ。



【経路の概略】

JR都賀駅

～県道64号（佐倉街道）

～四街道十字路

～「手繰川」に沿いの細道

～八幡台団地

～県道64号

～船戸大橋（印旛沼放水路＝新川）を渡る

～「印旛日医大」駅（千葉ニュータウン）

～「白鳥の郷」

【注意】

四街道市街を通過するまでは、交通量の多い道を行くが、四街道の大日から先は手繰川沿いに進む。八幡台団地、千葉ニュータウンの辺りでは、丘陵の台地を越える。片道26km、往復52km。健脚者向き。

【現地の様子】

現地は田んぼにつき周辺に食堂などはないものの週末など人出があるときには焼き芋などの販売が行われている。仮設トイレあり。

【関連情報のリンク】

場所および様子は千葉ニュータウンのホームページ（こちら⇒ <http://www.cnt-online.org/showplace/3497>）でもご覧になれます。

また、「千葉県印西市 本埜（もとの）の白鳥」という題名の日記（<http://swan.nikki.cmaker.jp/>）によれば、1月15日現在637羽が確認されています。



「白鳥の郷」にて（「白鳥サイクリング2013」2013年1月20日、ちょうど1年前。主宰者＝筆者が撮影）